

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

秋田の山

あきたのとかいりょう

土地改良



イメージキャラクター
みどりちゃん

VOL. 541

2026. 7



第26回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール入賞作品 入賞 (SNS秋田の農業&農村部門)「豊作花火」@audi.gogo5 撮影場所:大仙市

目次

CONTENTS

農業農村整備の集い	2	令和8年度秋田県土地改良事業推進大会	10
東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会による要請活動	3	第48回全国土地改良大会奈良大会	10
水土里ネット秋田(秋田県土連)による要請活動	3	公共測量品質管理優秀賞を初受賞	11
秋田県土地改良事業団体職員会「第66回通常総会」を開催	4	ユースエール認定企業に選ばれました!	11
秋田県農地集団化推進協議会第66回通常総会を開催	5	連合会日誌	11
土地連OB会定例会を開催	5	水土里レポーターによる写真投稿	
雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会第22回通常総会を開催	5	(仙北市西木土地改良区 会計主任 伊藤 翼)	12
秋田県南旭川水系土地改良区に女性理事3名が登用されました!	6	会員だより	12
水土里のゴミゼロ運動活動報告	8	お詫び	12
ふるさとの水土里子ども絵画展2026	10	リレー感想文	12
第149回秋田県種苗交換会「農業農村整備フェア」を開催します!	10	編集後記	12

農業農村整備の集い

—— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて ——

6月15日(月)、砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、全国水土里ネット主催による「農業農村整備の集い」が開催され、全国から土地改良関係者など約1,300名(出席国会議員含む)が参加しました。秋田県からは18名が参加し、農業農村整備事業の安定的な予算確保と、食料安全保障を支える基盤整備の推進に向け、関係者が一堂に会しました。



▲二階会長挨拶

冒頭、二階全土連会長が「令和8年度の土地改良関係予算は、令和7年度補正予算および令和8年度当初予算を合わせ6,942億円を確保できた。農業の構造転換を集中的に進めるための別枠予算も確保された。我々土地改良団体は、この予算を最大限活用し、農業・農村の発展に向け積極的に取り組んでいかなければならない。『闘う土地改良』のスローガンのもと、一致団結し、さらなる発展に闘いを続ける事を願う」と挨拶を述べられました。

来賓として、鈴木農林水産大臣、鈴木自民党幹事長、森山自民党食料安全保障強化対策本部長、宮下総合農林政策調査会長、野中自民党農林部会長、進藤全国水土里ネット会長会議顧問などが臨席し、それぞれご祝辞をいただくとともに、多くの関係国会議員の皆さまに駆け付けていただきました。



▲鈴木大臣



▲進藤顧問挨拶

その後、菅谷奈良県土連常務理事による要請文提案が行われ、満場一致で採択されました。

最後に、全国水土里ネット女性の会石川会長(栃木県小山用水土地改良区事務局長)らによる「ガンバロー三唱」が行われ、盛会のうちに閉会しました。



東北・北海道土地改良事業団体連合会 連絡協議会による要請活動

6月16日(火)、東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会(会長:水土里ネットいわて 高橋会長)は、農業農村整備事業の推進に向けた要請活動を実施しました。

今回の要請活動では、田所嘉徳復興副大臣、鈴木俊一自由民主党幹事長、小野寺五典自由民主党税制調査会長、山本啓介農林水産大臣政務官、宮下賢章財務省主計局主計官に対し、地域農業の持続的発展と農村地域の強靱化に向けた支援について要請・要望を行いました。



▲田所復興副大臣



▲鈴木幹事長、小野寺税制調査会長



▲山本農林水産大臣政務官



▲宮下財務省主計局主計官

水土里ネット秋田（秋田県土連）による要請活動

7月15日(水)、本会の松田会長をはじめ役職員4名と、秋田県土地改良事業団体職員会の木村会長(秋田県南旭川水系土地改良区)は、財務省並びに農林水産省、県選出国會議員を訪れ、本県の農業農村の情勢を踏まえ、農業農村の持続的発展と、農業農村整備事業の安定的かつ計画的な実施のため、予算総額を十分に確保することを柱とした要請活動を行いました。

また、翌7月16日(木)には東北農政局を訪れ、同様に予算確保に向けた要請活動を行い、現場の声を届けて来ました。

要請先は次のとおり。

- ・財務省 宇波主計局長、宮下主計官
- ・農林水産省 松本農村振興局長、青山農村振興局次長、石川整備部長ほか、関係課・室長
- ・御法川信英衆議院議員、富樫博之衆議院議員、福原淳嗣衆議院議員、村岡敏英衆議院議員、石井浩郎参議院議員、寺田静参議院議員、進藤金日子参議院議員
- ・東北農政局 荻野次長、鷲野農村振興部長、藤田地方参事官、山浦地方参事官ほか



▲財務省 宇波主計局長



▲農林水産省 松本局長



▲農林水産省 青山次長



▲農林水産省 石川整備部長



▲御法川衆議院議員



▲富樫衆議院議員



▲福原衆議院議員



▲進藤参議院議員



▲東北農政局 荻野次長

「第66回通常総会」を開催



▲伊藤会長

6月26日(金)、ホテルメトロポリタン秋田にて、秋田県土地改良事業団体職員会(伊藤清栄会長)第66回通常総会が開催されました。

総会は、伊藤会長の挨拶に続き、優良会員表彰が行われ、支部から推薦された計6名が受賞されました。議事では、議長に石川慶一氏(大潟土地改良区)を選任し、令和7年度会計収支決算、令和8年度収支予算等の審議、および任期満了に伴う役員の改選が行われ、提出議案は全て承認されました。役員改選の議案承認後、互選会が開催され、選出された新役員15名の中から、新会長として木村聡氏(秋田県南旭川水系土地改良区)



▲木村新会長



▲進藤先生

が選出されました。また、総会終了後、秋田県農地集団化推進協議会と合同で研修会を開催し、初めに、秋田県農林水産部農地整備課長の小倉健一郎氏から情報提供がなされ、続いて、全国水土里ネット会長会議顧問・参議院議員の進藤金日子氏より、「最近の農政をめぐる状況について」と題して、講演をしていただきました。



▲小倉課長



▲職員会、農地集団化協議会合同研修会



▲進藤参議院議員と役員の集合写真

優良会員表彰



- 黒崎 美保子(かづの土地改良区)
- 茂木 順子(秋田県能代地区土地改良区)
- 熊谷 淳一(秋田県仙北平野土地改良区)
- 畠山 慎吾(秋田県仙北平野土地改良区)
- 大沢 鐘代(秋田県雄物川筋土地改良区)
- 高橋 康平(湯沢雄勝土地改良区)

※敬称略



秋田県農地集団化推進協議会 第66回通常総会を開催

6月26日(金)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、秋田県農地集団化推進協議会(判田勝補会長)の第66回通常総会が秋田県農林水産部大石勝次長ほかを来賓に迎え開催されました。

議事に先立ち、令和8年度農地集団化事業優良団体表彰が行われ、今年度は7団体8区が受賞となりました。

議事では判田会長が議長を務め、令和7年度事業報告及び収支決算報告並びに令和8年度事業計画及び収支予算等の審議が行われ、提出議案はすべて原案のとおり承認、可決となりました。

【令和8年度農地集団化事業優良団体表彰】

- 由利本荘市土地改良区(松ヶ崎地区)
- 由利本荘市矢島町土地改良区(小坂戸地区)
- 美郷町千畑土地改良区(畑屋中央地区)
- 大仙市西仙北土地改良区(強首地区)
- 秋田県仙北平野土地改良区(鑓田南谷地地区)
- 山城水系土地改良区(内小友東部地区)
- 秋田県南旭川水系土地改良区(横手地区・栄東部地区)



秋田県農地集団化推進協議会第66回通常総会

土地連OB会定例会を開催

7月3日(金)、土地連OB会定例会が開催され、OB・OGの皆様にご出席いただきました。

総会では、令和7年度の収支決算、令和8年度の予算案、役員改選などが審議され、いずれも原案どおり承認されました。役員改選では、水戸憲光氏が会長に再任されました。

続いて行われた講演会では、ブラボー中谷氏を講師に迎え、「考え次第で世界は変わる」と題し、マジックを交えた講演が行われ、会場は笑いと驚きに包まれました。

懇親会では、1年ぶりの再会を喜び合いながら近況報告や思い出話に花を咲かせ、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。参加者からは、現役職員への激励や土地改良事業への期待の声も寄せられ、有意義な交流の場となりました。



雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会 第22回通常総会を開催

7月10日(金)、秋田キャッスルホテル(秋田市)において、雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会(伊藤稔会長)の第22回通常総会が開催されました。

議事では、伊藤会長が議長を務め、令和7年度事業経過報告及び収支決算、令和8年度事業計画及び収支予算等について審議が行われ、提出議案は全て承認、可決されました。

総会終了後、研修会が開催され、はじめに東北農政局農村振興部土地改良管理課の一条課長より「水土里ビジョンの策定について」、次に東北農政局土地改良技術事務所の小林所長より「土地改良技術事務所の役割と新技術・新工法について」と題して講演していただいた後、県内国営事業所から管内の事業状況について報告がありました。



▲議事の様子



▲講演する一条課長



▲講演する小林所長

秋田県南旭川水系土地改良区 女性理事3名の活躍をご紹介します！



秋田県南旭川水系土地改良区に令和6年8月から女性の員外理事が登用され、インタビューをさせていただきました。

秋田県南旭川水系土地改良区

住 所	横手市条里一丁目1-70
面 積	3,502ha
組 合 員	2,007人
理 事	23人（うち女性3人）
監 事	3人



▲ほ場整備事業
(3.6haの大区画ほ場)

▼21世紀創造運動
(小学生の施設見学)



▲様々な先進的な取り組みを行っている改良区です



お だ し ま ひ ろ こ
小田嶋 博子さん

現 JA 秋田ふるさとに入組し、定年退職後も嘱託職員として JA に勤務。



し み ず き ょ う こ
清水 京子さん

高校を卒業後、公立学校の事務職員として6年間勤務し、結婚を機に退職。
現在は婦人会、民生委員、保護司等を務めている。



な か む ら ま さ こ
中村 正子さん

平成26年より秋田ふるさと農協理事、令和2年より代表理事専務を1期3年間、現在は非常勤理事を務めている。

令和6年より子会社「㈱JAふるさと福祉会」の代表取締役社長に就任。

Q.1

土地改良区について今までどのようなイメージを持っていましたか。

小田嶋理事： JAで金融業務を長く務め、その当時から土地改良区には利用していただいていたことから、賦課金や基盤整備事業など耳にしたことはありましたが、詳細については知りませんでした。

清水理事： 実家も嫁ぎ先も農家ではなく、土地改良区について全くと言っていいほど分かりませんでした。

ただ、花の植栽や環境美化活動に力を入れているという程度の知識しかありませんでした。

中村理事： 主人が組合員であったことから、土地改良区とは以前から繋がりがあり、農業用水の管理や農地の基盤整備といった業務についても理解していました。私自身も測量事務所に勤めていた経験があったので、土地改良区とは農業に欠かせない重要な団体だという印象を持っていました。

Q.2

土地改良区の理事になってほしいと依頼があった際の率直なお気持ちをお聞かせ下さい。

小田嶋理事： 我が家も組合員ではありますが、現在は大きな作業は全て委託しています。

そんな中、理事の方から声を掛けていただき、「自分に務まるだろうか」という思いもありましたが、これまで地域の皆さんにお世話になってきたこともあり、できることから取り組んでみようという気持ちでお受けしました。

清水理事： 農家ではないため、何も分からず、声を掛けていただいた時は、「絶対ダメ！」とお断りさせていただきましたが、何も知らない異なる立場の者が加わることで、変わる部分もあるのかなと思い、お引き受けしました。

中村理事： 農業に関する組織の役員というのは男性のイメージが強く、そんな中、せっかく与えられた女性枠ですので、私自身も勉強させていただきながら、挑戦してみたいと思い、お引き受けしました。



左から中村理事、黒澤理事長、清水理事、小田嶋理事

Q.3

これから理事としての抱負や決意などをお聞かせください。

小田嶋理事： 理事就任から1年以上経っていますが、未だに借りてきた猫のような状態で大変申し訳ないと思っています。まずは、土地改良区の役割や事業内容について、これまで以上に学んでいきたいと思っています。また、若い農業者の皆さんにとって新しいことに挑戦しやすい環境づくりのお手伝いや、さらには、様々な意見を伺いながら、より良いコミュニケーションを築いていければと思っています。

清水理事： 理事会に出席しても、未だに専門用語が十分に理解できず、大変申し訳ないという感じです。世界情勢のニュースを目にする度に、最終的には農家の力が農村地域を支えるのだと実感しています。私は、農家ではありませんが、地域の一員として、少しでもお役に立てることがあればと思っています。

中村理事： 担い手不足など農家の抱える課題が多くある状況ですが、地域農業の持続的な発展のために土地改良区の業務は重要だと思っています。理事として何ができるのか、知識を広めながら少しでもお役に立てるよう努力していきたいと思っています。

黒澤理事長よりひと言



令和6年8月26日に就任していただき、2年近くになりますが、だいぶ仕事内容にも理解が深まったように感じます。

今後も地域に根差した土地改良区の役割に対して、男性にはない「女性目線」で農地・農村を維持、保全する為に知恵を出していただき、更なる活躍を期待しています。

照井事務局長よりひと言



土地改良区が社会的に担う役割は年々大きくなってきている昨今、長年男性が中心の組織体制に女性理事の登用による「新しい風」を取り入れ、今後本土地改良区の運営にご尽力を頂きたいと考えています。

水土里のゴミゼロ運動 活動報告

「水土里のゴミゼロ運動」は、令和8年5月29日(金)全県8支部一斉に、それぞれ農業水利施設周辺の清掃活動を行い、総勢298名が参加しました。

以下に、各支部の活動実績を紹介します。

鹿角支部

かつの土地改良区
田端 純佳

対象施設名 十和田錦木字中野添周辺
水路、農道・末広頭首工

所在地 鹿角市十和田錦木字中野添地内

参加人数 18名

参加者の感想

当日は、悪天候にも関わらず、関係各所から参加いただきゴミゼロ活動を行うことが出来た。ゲートの改修事業進行中の頭首工について施工業者からの説明をいただき視察を行った。地区の水利施設や農地の現状を間近に見ていただくいい機会になったように感じた。ゴミはほぼ無く非常に管理が行き届いているように感じた。改めて維持管理の重要性を感じる活動となった。



大館・北秋田支部

大館市土地改良区
佐々木 拓也

対象施設名 大館用水路・小釈迦内用水路

所在地 大館市字二ツ屋地内、同釈迦内字小釈迦内道上地区ほか

参加人数 52名

参加者の感想

今回初めて参加したが、たばこの吸い殻が多く驚き、ポイ捨てしないよう身回りの方たちにも伝えたいと感じるとともに、多面的でも清掃活動をしているが、こうしてたくさんの方と行うとやりがいがあり、活動を通じて水路や水辺環境の大切さを理解していただくことができて良かった。



山本支部

二ツ井町富根土地改良区
佐藤 育子

対象施設名 富根管内 農道及び水路

所在地 能代市二ツ井町飛根字高清水～新富根 地内

参加人数 48名

参加者の感想

管内会員並びに老人クラブ、J A女性支部の会と連携を図り、管内にある農業水利施設の清掃活動を行った。農道と水路の清掃活動でしたが、ごみはほとんど見られず、地域の皆様の意識の高さに改めて感心させられた。活動の趣旨に賛同して参加してくださった皆様に感謝したい。



秋田支部

男鹿市土地改良区
高桑 利佳

対象施設名 秋田市土地改良区(旧仁井田堰土地改良区)管内農道、幹線水路周辺

所在地 秋田市四ツ小屋

参加人数 27名

参加者の感想

今年は、かつて開催されていた「水土里のみちウォーキング」in 仁井田を参考に、秋田市土地改良区の伊藤事務局長へ相談し、当時のコースではないが、管内の「やぶれ沼」周辺でゴミゼロ活動を実施した。当日は雨風が強まり、やむを得ずコースを変更しましたが、不法投棄されていたベンチを回収するなど、参加会員は悪天候の中でも熱心にゴミ拾いに取り組んだ。天候には恵まれませんでしたが、参加会員の行動力に感謝する活動となった。



由利支部

にかほ市土地改良区
鈴木 允人

【対象施設名】 四角井戸ため池

【所在地】 にかほ市馬場字冬師山地内

【参加人数】 16名

【参加者の感想】

由利本荘市土地改良区管内の西目地区の水源となるため池でのゴミゼロ活動で、隣接する道路が県道のためゴミがないように思えたが、空き缶や空き瓶の他にもスニーカーや車のホイールカバーといった分別に困るようなゴミも拾った。今回のゴミが用排水路や余水吐け等に詰まることで近年増えてきている大雨の際の冠水や浸水被害を引き起こす原因にもなりかねないため、水害予防の一環として活動出来て良かった。支部としても、水害予防はもちろん施設の破損防止にもつながることから、今後も引き続きゴミゼロ活動を行ってきたい。



仙北支部

本会南事務所
永山 裕希

【対象施設名】 仙北市角館町土地改良区管轄の小勝田頭首工並びに古城橋周辺（桧木内川堤防沿い）

【所在地】 仙北市角館町小勝田 地内

【参加人数】 54名

【参加者の感想】

今回は観光名所である角館の河川敷で実施した。桜の季節には何十万人と観光客で賑わう場所でもあるが、ゴミは非常に少なく地元の方々の管理が行き届いているのだと思った。ですが、一部で缶を隠すように捨てられており、このような事がないよう今後ともこの「ゴミゼロ運動」を通して啓発活動を継続することが重要なのではないかと考えさせられた。



平鹿支部

雄物川筋土地改良区
渡部 直哉

【対象施設名】 楢沢沼（秋田県雄物川筋土地改良区周辺）

【所在地】 横手市大屋寺内地内

【参加人数】 61名

【参加者の感想】

時折強風の吹き荒れる日でしたが、本年も多数のご参加をいただきゴミゼロ運動を行うことが出来た。今回は、3年ぶりに秋田県雄物川筋土地改良区事務所近くに位置する楢沢沼ため池を対象施設とし、ゴミ拾いを行いました。比較的大型・重量のある不燃ゴミが多く、集積場所へ持ち歩くのに苦労する様子が見られた。今後もゴミの不法投棄防止と適切な処分を促す啓発活動を継続して行いたい。



雄勝支部

湯沢雄勝土地改良区
倉田 一治

【対象施設名】 大台第一ため池 大台第二溜池

【所在地】 湯沢市杉沢字大台口

【参加人数】 22名

【参加者の感想】

大台ため池では、地域の保全隊活動や関係団体による啓発・清掃活動が継続して行われていることから、本年度の清掃活動では不燃ごみがなく、可燃ごみも少なく、ゴミゼロ運動の成果を感じることができた。一方で、釣り客からは一部にモラルの低い利用者もいるため、更なる啓発が必要との声も聞かれた。農業用水の供給だけでなく地域の憩いの場でもある大台ため池の良好な環境を守るため、今後も清掃活動の周知と環境保全に努めていきたい。



未来へつなごう!

ふるさとの水土里 子ども絵画展

2026

主催 全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

応募資格 小学生以下

対象 「田んぼや畑」「農業用水路」などの風景、大切な水路を守っている人たち、農村や農業に古くから伝わる祭りや風習、郷土料理など農業や農村に関連するもの。

応募期間 2026年6月1日(月)～9月4日(金)

応募先 〒010-0967 秋田市高陽幸町3-37
水土里ネット秋田(秋田県土地改良事業団体連合会)

総務企画部 企画・広報班 宛

TEL: 018-888-2742 FAX: 018-888-2834

URL: <https://www.inakajin.or.jp/works/pr/kids-art>

その他、応募の詳細、パンフレットのダウンロードについては
右記QRコードからお願いします。



第149回秋田県種苗交換会 「農業農村整備フェア」を開催します!

- 期 間: 令和8年10月31日(土)～11月4日(水)
- 場 所: 由利本荘市「ナイスアリーナ」(主会場)
- 内 容: 各種パネル・事業模型の展示等



令和8年度 秋田県土地改良事業推進大会

- 期 間: 令和8年11月2日(月)
13:00～
- 場 所: 由利本荘市文化交流館「カダーレ」



第48回全国土地改良大会

奈良大会



- 日時** 令和8年11月17日(火)
13:30～16:00
- 場所** 奈良県コンベンションセンター

公共測量品質管理優秀賞を初受賞

～高い品質管理と確かな技術力が評価される～



このたび、秋田県土地改良事業団体連合会は、公益社団法人日本測量協会が実施する「令和8年 公共測量品質管理優秀賞」を受賞しました。

本賞は、公共測量成果の基準点測量部門の検定において、品質が特に優れていると認められた測量作業機関を表彰するもので、公共工事の品質確保を目的として平成17年度に創設されたものです。令和7年度に公共測量成果の検定を受けた測量作業機関のうち、基準点測量では1,482社が受検し、その中から特に優れた26社が選出されました。

今回の受賞は、長年にわたり取り組んできた測量成果の品質向上や、適正な品質管理の徹底が高く評価されたものであり、本会にとって初めての栄誉となります。

土地改良事業における測量成果は、農業農村整備事業を進める上で基礎となる重要な情報であり、その精度と品質は事業の安全性や円滑な推進に大きく関わります。

本会では、これからも確かな技術力と品質管理体制の向上に努め、会員の皆様や関係機関から信頼される測量成果の提供に取り組んでまいります。



▲本会農地整備部測量班のメンバー

ユースエール認定企業に選ばれました！



このたび、令和8年2月27日付で、秋田県土地改良事業団体連合会は、厚生労働省が若者の採用・育成に積極的に取り組む企業を認定する「ユースエール認定企業」として選ばれ、7月3日（金）に秋田労働局において認定通知書交付式が執り行われました。

ユースエール認定制度は、若者の採用・育成に積極的に、働きやすい職場環境づくりや人材育成に取り組む中小企業を厚生労働省が認定する制度です。

本会では、若手職員が安心して働き、成長できる職場づくりを目指し、ブラザー・シスター制度をはじめとした人材育成や働きやすい職場環境の整備に取り組んできました。今回の認定は、これらの取組が評価されたものです。

今後も、職員一人ひとりが能力を十分に発揮できる職場づくりを進めるとともに、地域農業・農村の発展に貢献できる人材の育成に努めてまいります。



連 合 会 日 誌

7月6日	秋田県多面的機能支援協議会通常総会
7月8日	秋田県水土里情報利用団体連絡協議会通常総会
7月10日	秋田県土地改良専門技術者会総会
7月14日	大館・北秋田支部要請活動 ～15日
7月15日	土地連要請活動 ～16日
7月23日	山本支部要請活動 ～24日
7月28日	由利支部要請活動 ～29日
7月28日	秋田支部要請活動 ～29日

..... 今後の行事予定

8月17日	第2回正副会長会議
8月26日	第3回監事会、第2回理事会・役員会

秋田市「イヤタカ」
秋田市「秋田テルサ」
秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」
東京都「農林水産省、議員会館」
東京都「財務省、農林水産省、議員会館」
仙台市「東北農政局」
東京都「農林水産省、議員会館」
東京都「農林水産省、議員会館」
東京都「農林水産省、議員会館」

本会「役員室」
本会「第1会議室」



宮田頭首工

水土里レポーター：仙北市西木土地改良区 会計主任 伊藤 翼



松木内川から取水し、地域の農地へ安定した水を届ける宮田頭首工。かつては旧改良区が管理する頭首工がありましたが、老朽化に伴う架け替えを機に、地域合同で利用する現在の形へと生まれ変わりました。川の恵みを受けながら、農業を支える大切な役割を今も果たし続けています。

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました。

○由利本荘市鮎川土地改良区(R8.4.9)
理事長 熊谷 仁

新市町村長就任のお知らせ

次の方が新たに市町村長に就任されました。

○能代市(R8.4.23)
市長 鍋谷 暁

○八郎潟町(R8.6.28)
町長 佐藤 友紀

秋田の土地改良(540号)について お詫びと訂正

4月27日発行の「秋田の土地改良」(540号)について、掲載内容に誤りがありました。訂正箇所は以下のとおりです。

8ページ：「令和7年度農業農村整備優良地区コンクール表彰」ページの内容について、写真説明の地区名に誤記がありました。

誤：◀広末地区 (かづの土地改良区)
正：◀末広地区 (かづの土地改良区)

関係者各位および読者の皆様には、大変ご迷惑お掛けいたしましたことを謹んでお詫び申し上げます。

リレー vol.46 感想文



本誌を通じてさまざまな情報にふれることができ、ありがたく拝読しています。

誌面も鮮やかで見やすく、隅々まで熟読することができています。

今後の発行も心待ちにしております。

管理情報部 水土里情報センター室
佐藤 若奈

編集 後記

あつという間に梅雨が明け、夏の青空が広がる季節となりました。田んぼの稲もすくすくと育ち、風にそよぐ緑が目にも心地よく感じられます。

今回の7月号では、各種協議会総会関係の記事や、シリーズ化している県内土地改良区女性理事リレーインタビュー等を中心に掲載しております。

さて、本会では、昨年に引き続き今年も地元竿燈会の皆さんと一緒に竿燈まつりへ参加します。ぜひ「さなえマーク」の提灯を見つけていただければ嬉しいです。

まだまだ暑い日が続きますが、無理のないようにお過ごしください。次号もどうぞよろしくお願いいたします。

(企画・広報班 寺澤)

